



新年のごあいさつ 浦添市長 儀間 光男

新年明けましておめでとうございます。
新春の日の出はこの上なく明るく希望に満ちています。
本年も、この希望の光を受け、蒲郡市民一人ひとりが希望に満ちた明るい年となるようご祈念申し上げます。

さて、昨年、蒲郡市制50周年の節目の年を迎えられ、例年にない忙しさではなかったかと存じます。まだまだ、しばらくは続くようですが、周年の意義を強調するための記念事業が、大過なく成功裏に終わられるよう念願するものです。

おりしも、50年という半世紀の時代の変遷の中で、政治・経済・産業・教育・文化面において、その時々状況に応じて大きく変化し、最近では、国の三位一体改革により、厳しい財政状況を余儀なくされ、充実した財政基盤を求める理想郷の実現には、前途険しい山を越えていかなければなりません。

また、本年は、終戦60周年の節目の年を迎えますが、戦後の復興期に営々と郷土の復興再建に励み、創設から拡張、維持管理時代へと幾多の困難を乗り越え、今日の隆盛を築かれた諸先輩に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

蒲郡市におかれては、金原市長のもとに、市民が力を合わせて未来を展望したまちづくりを推進されておりますが、50周年のテーマが「ずうっと大好きな蒲郡」人が好き・まちが好き・海が好き・山が好き・蒲郡が大好き、といったユニークなテーマを掲げ、一年間の記念事業に取り組まれました。

本年は、私ども浦添市においても市制施行35周年を迎えます。厳しい財政状況の中で、貴市の記念事業を参考に簡素に行うための企画・立案をしているところです。

迎えました2005年が、両市民にとりまして実り多い素晴らしい年となるよう念願申し上げ、併せて、両市の交流事業の継続発展を祈念申し上げまして新年のあいさつといたします。

迎

20

人が好き まちが好き 海が